

## 目 次

まえがき

### 序章 研究の目的と手法・方向性

第一節 ハンセン病をめぐる差別の問題 ..... 15

第二節 ハンセン病問題研究の課題 ..... 20

第三節 「らい」から「ハンセン病」へ ..... 27

第四節 本研究の目的——ハンセン病差別の意味論 ..... 29

第五節 本研究の方法——研究法・資料・構成 ..... 34

### 第一章 民俗学の差別研究について

はじめに

第一節 「差別と民俗」特集号の意義 ..... 43

第二節 ケガレ論および境界論からの把握 ..... 48

第三節 民俗学の被差別部落研究 ..... 53

第四節 「所謂特殊部落ノ種類」をめぐつて	62
小括	.....

## 第二章 ハンセン病に関する基礎的情報

### はじめに

第一節 ハンセン病の病理学——その特徴と現在	.....
第二節 ハンセン病に対する現在の認識——若年層と高齢者層を中心	84
小括	79

## 第三章 近代以前のハンセン病

### はじめに

第一節 歴史学における研究史	.....
第二節 古代律令制下におけるらい——漠然とした罪として	104
第三節 中世仏教者の理解およびその影響——罪悪視の強化	110
第四節 近世医学のらい理解——家に伝わる病気として	98
第五節 近世諸文献にみるらい理解——近世隨筆を中心に	125

## 小括

# 第四章 近現代ハンセン病政策の展開と差別の強化

## はじめに

第一節 『最終報告書』における提言とその分析	152
第二節 近代衛生政策の展開——コレラ危機と「衛生」	161
第三節 ハンセン病政策の濫觴——「癩予防二閥スル件」の成立	166
第一項 ハンセン病問題の顕在化	166
第二項 「癩予防二閥スル件」の成立	173
第四節 隔離政策の強化——「癩予防法」成立まで	177
第一項 強制隔離への懷疑	177
第二項 隔離強化の主張	179
第三項 隔離がはらむ問題	187
第四項 「癩予防法」の成立	191
第五節 患者と一般社会の分断——「らい予防法」制定まで	195
第一項 財団法人癩予防協会の発足	207
第二項 戦前の「無癩県運動」	207

## 第五章 近現代ハンセン病医学とその影響

小括 .....  
第三項 繼続される「無癩県運動」 .....  
第四項 「癩予防法」の改正 .....  
212

はじめに	220
第一節 近代ハンセン病医療史の展開——世界のハンセン病医療	236
第一項 らい菌の発見	237
第二項 治療可能な疾病	238
第二節 明治初期のハンセン病治療——養生論と科学療法の併用	238
第三節 病因に関する言説——遺伝説と伝染説の揺らぎ	241
第一項 遺伝説と伝染説との間の揺らぎ	250
第二項 遺伝説の受容	257
第四節 治療から隔離へ転換する医師たちの言説——患者の治療から病気の根絶へ	261
第一項 伝染説の受容	262
第二項 社会に残る搖らぎ	267
第五節 治療への努力とその実態——隔離への反対と療養所における医療	275

第一項 隔離への反対	275
第二項 国立療養所におけるハンセン病医療	279
第三項 戦後の啓蒙活動	283
小括	285
<b>第六章 ハンセン病問題の新局面</b>	
はじめに	296
第一節 「ハンセン病問題基本法」制定の背景	303
第二節 ハンセン病療養所の将来構想	306
第三節 療養所退所者の問題	309
第四節 「ハンセン病問題基本法」をめぐる問題	309
小括	309
<b>第七章 ハンセン病と民間伝承</b>	
はじめに	296
第一節 民俗学における研究史の整理と本章のアプローチ	296

第二節 ハンセン病の方言とその分布について――分布からみる地域差	323
第三節 患者の放浪とその記録――『癪患者の告白』と四国遍路	334
第四節 戦前の患者集住の様子――草津湯ノ沢と熊本本妙寺を中心に	345
第一項 各地における集住の様子	349
第二項 草津湯ノ沢部落について	353
第三項 熊本本妙寺について	356
第五節 拡大する差別視と婚姻忌避――個人から家へ、家から集落へ	366
第一項 大正九年『癪部落概況』から	384
第二項 民俗誌の報告から	385
第三項 肺結核との比較	395
第六節 超世代的な継承について――俗信・伝説・特殊葬法から	403
第一項 病気の原因伝説について	406
第二項 特殊葬法について	407
小括	424

## 第八章 今後の問題解決に向けて

はじめに

第一節	全体を振り返つて
第二節	重層複合的ハンセン病差別
第一項	重層性について
第二項	複合性について
第三節	本書の意義と今後の展望

あとがき  
主要項目索引

462 454 452 450 444